



さいじょう

2009.8.1発行

第19号

市議会だより

発行/西条市議会 編集/市議会だより編集委員会 〒793-8601 愛媛県西条市明屋敷164 ☎(0897) 52-1261



暑中お見舞い申し上げます

酷暑の折柄、市民の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます

平成21年 盛夏

西条市議会議員一同

5月臨時会 一般選挙後、初の臨時会開催!

正副議長選挙・常任委員会委員の選任など
新たな議会構成を決定
特定案件の調査・研究のため、
3つの特別委員会を設置

6月定例会

平成21年度補正予算(総額24億6,197万8千円)を可決

◇目次◇

新しくなった議会構成……………	2～3 P	5月臨時会・6月定例会議決結果…	8 P
予算・条例等に対する審議…	3～4 P	請願・編集後記等……………	7～8 P
一般質問……………	5～7 P		

6月定例会の会期日程

2日	本会議 (提案説明)
3日～7日	休会
8日	本会議 (質疑・一般質問)
9日	本会議 (一般質問)
10日	休会
11日	総務委員会・福祉文教委員会
12日	産業建設委員会
13日～15日	休会
16日	臨海地域振興整備特別委員会
17日～18日	休会
19日	議会運営委員会 本会議 (討論・表決)

5月臨時議会

5月11日に、改選後初めて開会された平成21年第4回5月臨時議会において、正副議長の選挙、常任委員会及び議会運営委員会委員の選任、特別委員会の設置及び同委員会委員の選任など、新しい議会の組織構成に関する議事が行われたほか、市長から提案された市税条例の一部を改正する条例の専決処分承認案の審議等が行われました。

議長 楠 學氏
副議長 大澤 忠正氏
を選出



議長 楠 學



副議長 大澤 忠正

正副議長就任あいさつ

市民の皆様には、市政各般にわたり、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
私どもは、先の5月臨時会において、名誉ある西条市議会議長並びに副議長に就任いたしました。
依然厳しい地方の行財政状況の中、当市におきましては、工業用水分水問題、市立周桑病院の経営問題等々、喫緊の課題を抱えているところであります。
かかる重要な時期に、大役をおおせつかりましたことは、たいへん光栄であると同時に、その職務の重大さと思うと、身の引き締まる思いがいたします。
市民の皆様のお力を結集し、ともに市の発展と魅力あるまちづくりの推進に、最善の努力を傾注して参る所存であります。
今後とも倍旧のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しくなった議会構成

総務委員会

●総務部、財務部、消防、会計管理者、選挙管理委員会、監査委員会、公平委員会、固定資産評価審査委員会の所管に属する事項及び他の委員会に属さない事項の審査を行います。

- 委員長 藤田 節雄
- 副委員長 一色 輝雄
- 委員 越智 啓郎
- 西坂 壽
- 伊藤 新平
- 大澤 忠正
- 黒河紘一郎
- 青野 貴司
- 青野 久美
- 一色 伸二



産業建設委員会

●企画経済部、農林水産部、建設部、農業委員会の所管に属する事項の審査を行います。

- 委員長 児玉 千春
- 副委員長 坪井 剛
- 委員 高橋 章哲
- 塩出 崇
- 安藤 雅康
- 森 達正
- 持主真知子
- 日和佐 直
- 楠 學
- 荳田 元近



福祉文教委員会

●保健福祉部、生活環境部、周桑病院、教育委員会の所管に属する事項の審査を行います。

- 委員長 堀江 幸二
- 副委員長 行元 博
- 委員 山地美知一
- 岡村 重治
- 斎藤 宣昭
- 西坂 信
- 越智 絹恵
- 近藤 達也
- 徳増稚養一
- 伊藤 孝司



議会運営委員会

●議会運営、議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項や議長の諮問に関する事項及び議会広報に関する事項について、調査・審査を行います。

- 委員長 一色 伸二
- 副委員長 持主真知子
- 委員 坪井 剛
- 安藤 雅康
- 森 達正
- 近藤 達也
- 黒河紘一郎
- 徳増稚養一
- 伊藤 孝司
- 荳田 元近



各特別委員会の選任

第4回5月臨時会において、委員会発議により3つの特別委員会が設置されました。

なお、各特別委員会の正副委員長及び委員は次のとおりです。

臨海地域振興整備特別委員会

- 委員長 近藤 達也
- 副委員長 一色 輝雄
- 委員 員 行元 博
- 西坂 信
- 青野 久美
- 徳増稚養一
- 藤田 節雄
- 一色 伸二
- 伊藤 孝司
- 荻田 元近

水資源調査特別委員会

- 委員長 伊藤 孝司
- 副委員長 徳増稚養一
- 委員 員 斎藤 宣昭
- 坪井 剛
- 行元 博
- 児玉 千春
- 安藤 雅康
- 近藤 達也
- 藤田 節雄
- 荻田 元近

愛媛県後期高齢者医療

広域連合議員の選挙

愛媛県後期高齢者医療広域連合議員の選挙が行われ、徳増 稚養一氏が当選されました。

議会選出の監査委員の任命に同意

議会選出の監査委員に、伊藤 孝司氏を任命することに同意しました。

6月定例会

6月定例会では、各会計補正予算案2件、条例案その他委員会提出議案など計20件の審議を行い、いずれも原案可決となりました。

本会議では、議案質疑に6名、一般質問に10名が登壇し、議案や市政全般にわたり議論が交わされました。

議案質疑

議案第75号

西条市養護老人ホーム設置及び管理条例等を廃止する条例

福祉施設の民営化

利用者のサービス向上を

(自民クラブ)

問

5つの福祉施設(道前育成園、東予学園、道前荘、石燧園、明水荘を平成22年4月に民間移譲するというところであるが、民営化を行うに至った経緯を問う。

また、民間移譲されると利用

者、家族にとっては、環境変化に対する不安、移譲先の経営状況に対する不安、現状のサービスの維持向上への不安などがあるが、民営化のメリット、デメリットをどう考えているのか。

答

国の行政改革大綱と、これに基づく市の行政改革大綱及び集中改革プランを受け、検討を重ねた結果、入所者の多様化するニーズに柔軟に対応でき、また効率的、効果的な施設運営のためには民間譲渡が望ましいとの方向性が示され、利用者、保護者や職員等にも反対意見はなく、理解、了承されたものである。

民営化のメリットとしては、運営面においては、民間の社会福祉法人では求められるニーズに柔軟、迅速に対応できる面があり、利用者へのより高い福祉サービスの提供につながると考えている。

また、経費面においても、民間移譲した場合、平成19年度決算ベースで試算すると、5施設の管理運営費で年間約2千300万円の経費削減になる。さらに、近い将来、大規模改修や改築が予測されるが、市で実施する場合、

すべて市の負担となる。しかし、民間の場合は、国や県、市、民間団体などの助成制度を活用することが可能となる。

デメリットとしては、利用者の支援環境に急激な変化が生じることや、現状のサービス水準が維持、向上できるかどうかなどが考えられるが、移譲先との引継ぎ支援や運営協定、また状況に応じて現場指導を行うことで対応できると考えている。



東 予 学 園



議案第61号

一般会計補正予算(第2回)

石鎚山を舞台に

実施する踊りとは？

(自民クラブ)

問

今回の補正で、周年事業として市民参加型の踊りのイベントを開催するための予算が計上されている。イベント開催に当たり、石鎚山をテーマとした踊り「ISHI-ZUCHI」の創作理由のほか、事業の周知、当日の交通手段、雨天時の対応、新しい踊りの活用方法について、どう考えているか。

答

本年、西条市は、合併5周年の節目を迎える。これを機に、「西条は一つ」という機運の高揚、市民の融和と一体感の醸成、さらには石鎚山の存

在や魅力を再認識するため、11月1日に、石鎚登山ロープウェイ下谷駅周辺や成就社、石鎚ピクニック園地で1千人規模の踊りのイベントを予定している。

踊りの創作は、市民に親しまれる、西条市オリジナルの芸術文化の創造を目的として、関西京都今村組最高顧問の今村克彦氏に依頼することとしている。

なお、イベント会場までの交通手段は、貸切バスでの輸送や、シャトルバス及びロープウェイの運行により対応したい。また、野外でのイベント開催手法については、今後きめ細かい検討を加えていきたい。

事業の周知については、市報へのチラシの折り込みやポスターの作成、インターネットなど、さまざまな広報媒体を積極的に活用していきたい。

今後の踊りの活用については、運動会や各種イベントにおける継続的な披露、踊りの指導会の開催により、将来の西条市を担う子どもたちをはじめ、広く市民に踊りの普及・浸透に努めていきたい。

ふるさと生活体験

推進事業

(無党派)

問

ふるさと生活体験推進事業は、緑豊かな農山漁村において、自然、文化、人との交流といった生活体験を児童がすることは貴重な経験になると考えるが、具体的にどのような目的で実施するのか。

また、事業の趣旨からすると、市内中心部の児童が対象になると思うが、宿泊先も含め、どのように選定するのか。

さらに、児童が貴重な体験から得たものを発表する機会が必要であるが、体験終了後の取り組みについてはどう考えているのか。

答

本事業は、農山漁村で民泊1泊以上を含む1週間程度の長期宿泊を体験し、農林漁業体験や生活体験をすることで、児童の学ぶ意欲や自立心、思いやりの心、規範意識などを育み、生きる力を育てることが目的である。

体験する児童は、比較的市街地の学校とし、神拝小学校5年

生170名、壬生川小学校6年生58名とした。宿泊先は、県内で農林水産省のグリーン・ツーリズムモデル地域に指定されている所から検討し、本年度より西条市及びしまなみ地区が指定されたため、移動時間も考慮し、体験プログラムの実施している両地区としている。

終了後の取り組みについては、各小学校において地域の農林水産業の学習を行うとともに、農林水産業の体験をもとに農や食関係の学習に発展させるなど、より教育効果の高い取り組みにするべく、学んだことを文化祭や学習発表会で保護者や地域のかたへ発表したり、思い出文集としてまとめる中で学びを深めていきたい。

報告第4号

株式会社西条産業支援センターの経営状況について

平成20年度の経営状況は？

(日本共産党西条市議団)

問

株式会社西条産業情報支援センターにおける交際費の用途はどうかっているのか。

また、西条経営者塾開催事業については、受託業者を変更するとともに赤字決算の現状から

開催費に対する助成も減額すべきとの指摘もあるが、どのように考えているのか。

答

株式会社西条産業情報支援センターでは、地域中小企業に対して的確な経営指導支援を実施するにあたり、対外的なネットワークの構築を図り、有益な情報の収集を主眼として交流活動を行っている。交際費については、社会通念上妥当と認められるものについて支出しており、一般企業のような接待を中心とした売り上げ先への販促活動での支出は行っていない。

具体的には、商品開発・販路開拓用の食材の購入費、食料産業技術懇談会などの交流会経費などに当てている。

また、西条経営者塾開催事業については、地域の中小企業経営者に対し、自らが積極的に販路開発などを行うマイナンドの醸成などを目的として実施しているが、卒業生は、積極的な営業活動、新規店舗の展開や新規事業への展開を図るなど目覚ましい実績を上げており、事業の実施に特段の問題はないものと認識している。

一般質問

水産業を取り巻く

環境の現状は？

(自民クラブ)

問 燧灘は、かつて瀬戸内海有数の好漁場であり、魚介類の宝庫であったが、現在水揚げは激減している。水産資源は石油のような鉱物資源とは異なり、適切な管理を行えば、永続的に再生産が可能であるが、水産業を取り巻く環境の現状と今後の水産振興施策について問う。

答 本市は、穏やかで魚種豊富で、豊富な燧灘に面し、小型底漁業と、のり養殖を主体に営まれており、これまでも多くの水産物を供給してきた。しかし、

昨今、資源量の減少、原油の高騰、経営組織の財政基盤の脆弱、漁価の低迷による所得の伸び悩みなどにより、水産業を支える経営体や漁業従事者数の減少に歯止めがかからない状況にある。今後の振興施策については、従来の施策に併せ、旧愛媛県水産試験場をアサリなどの貝類試



新たな拠点となる旧愛媛県水産試験場

験養殖やのりの試験養殖、アマモの育苗など水産業振興のための研究施設として位置づけ、活用を図るほか、株式会社西条産業情報支援センターが今年度から取り組むクールアースプロジェクトとして、冷水を活用した「さつきます」の陸上養殖試験に取り組み予定であり、その実用化に向け、積極的に協力したいと考えている。

問 乳がんは、日本の女性に最も多いがんであり、近年、20歳から30歳代でも増加傾向にある。早期発見・早期治療をすれば治る率も高く定期的な検診が重要である。

(自民クラブ)

答 乳がん検診受診率向上への取り組みについては、検診料の無料化や総合検診方式により土・日曜日も検診を実施することにより、受診しやすい体制づくりを行っている。

また、健康づくり推進委員、J A女性部による受診勧奨を実施するとともに、健診時や学習会での健康教育の実施、広報誌などによる広報活動に積極的に取り組んでいる。今後は、これらの取り組みを

どう取り組む！
乳がん検診の受診率向上

継続して実施するとともに、女性特有のがん検診推進事業による事業対象者への個別通知の実施や、「愛媛県がん対策推進委員設置事業」を活用して啓発活動・受診勧奨を行いたい。

どう取り組む！
子どもの体力づくり

(自民クラブ)

問 最近の子どもの運動能力は、少子化の進展に伴い運動部が減少していることや、運動する子としない子の二極化などにより著しく低下していると言われている。

子どもたちの体力づくりは、体育の授業を除けば、小学生はスポーツ少年団、中学生は運動部における活動が中心となっている。成長期にある子どもたちの体力向上について、今後、どう取り組むのか。小・中学校における運動部参加の呼びかけの現状はどうなっているのか。

答 子どもの体力づくりは、「元気アップ！西条っ子体力づくり推進計画」に基づいて小学校では、※SAQトレーニング



元気に活動！ スポーツ少年団

ングを中心に、児童の体力、運動能力の向上に取り組むこととしている。また、地域指導者によるスポーツ少年団の活動については、23種目に2,275名が、水泳及び陸上記録会に約2千名の児童がそれぞれ参加している。中学校における運動部の活動状況は、男子91・5パーセント、女子67パーセントで、特に女子の場合、合唱や吹奏楽などの文化部に入部しているため加入率が低くなっている。近年、少子化に伴う生徒数の減少により部活動の存続が難しくなっていることから、今後、部員不足に対応して、地域指導者の導入や近隣校との合同活動も視野に入れるなど、より良い部活動の環境づくりや体制づくりについて検討していきたい。

※SAQトレーニング：S(スピード)・A(敏捷性)・Q(すばやさ)をシステム化した基礎トレーニング

どう考える？

雨水の再利用

(リベラル西条)

問

近年、世界規模で地球温暖化対策のため「水を大切にしましょう」ということが提唱されている。その中で、雨水は貴重な水資源であり、例えば公民館など公共施設に貯水タンクを設置することで、溜まった水をトイレの浄化水や樹木への散水などの雑用水として、また、災害時の緊急対策用水として活用することができると聞いている。

雨水タンクは、まちの中の小さなダムとなり、かつ有効利用すれば節水にもつながる。この身近な水源と言われる雨水の再利用について、市は、どう考えているか。



西消防署内の地下にある雨水タンク

答

雨水は、地下水のかん養にも重要な役割を果たしており、溜めた雨水を散水やトイレ用水として使用することで節水効果を得ることができる。

現在、西条市では、西消防署に320立方メートルの雨水タンク1基を設置しているが、雨水の再利用については、水供給能力が不足する地域や、災害時等により水供給が停止する可能性のある施設及び地域においては、有効な水資源の確保の一手段であると考えている。

現時点では、市民全体の安心・安全な水供給システム構築の中で費用対効果や、施設及び地域特性を検討しながら導入について検討すべき方向にあり、公共施設全体に雨水タンクを設置するというところまでは考えていない。

どう取り組む！ 急がれる経済・雇用対策

(公明党西条市議団)

問

政府は、新たな追加経済対策となる歳出総額13兆9千300億円という過去最大規模の補正予算を5月末に成立し、緊急人材育成就業支援事業に700

億円を盛り込むなど、地方の経済対策への力量が発揮できるものと期待をしている。

県内の有効求人倍率は0.53倍と9か月連続での悪化を示しており、当市も有効求人倍率0.5倍を示し、依然厳しい状況が続いており、雇用調整助成金の助成率の拡充や、当市も緊急雇用創出事業として基金を積み、雇用対策と就業の創出を進めているが、市内企業における雇用対策の現状とその効果を問う。

答

去る5月11日の臨時会で議決された緊急雇用創出事業は、34事業、総事業費6千730万1千円、雇用創出目標108人、ふるさと雇用再生事業は、8事業、総事業費1億1千73万9千円、雇用創出目標20人である。現在の進捗よく状況は、市の直接雇用に関する事業は、定数を上回る応募があり、面接などにより今後採用を決定していきたい。

また、国の雇用調整助成金は、企業における雇用維持対策の柱として、さらなる充実が図られている。運用の状況は、4月末で、全国で約6万1千社、対象者は253万人、愛媛県では、4月末

で234社が利用し、対象者が約7千人と言われている。本市は、100社余りが利用していると推測しており、雇用調整助成金は、一定の成果があると見ている。

校庭や公園などの 芝生化は？

(公明党西条市議団)

問

近年、校庭の芝生化が進み、文部科学省も、教育上の効果や、砂じんの飛散防止、降雨時の土砂の流出防止、夏季の気温上昇の抑制など環境保全上の効果を上げて整備推進を図っている。

愛媛県内では、西予市の野村中学校で、苗代が安く特別な土壌改良も必要なく、維持管理も簡単な鳥取方式と言われるポット苗移植法を採用して、グラウンドの芝生化計画に取り組んでいる。

本市においても鳥取方式による公立小・中学校や幼稚園・保育園などの芝生化を実施する考えはないのか。

答

芝生化のメリットは、安全性の向上による屋外運動の促進、温度上昇の抑制によ



築山で遊ぶ園児

る快適性の向上、砂じん飛散や土の流出の防止などがある。また、鳥取方式では、従来に比べて低コストで維持費も抑えられる。しかし、初期投資が1千平方メートル当たり約50万円で、維持管理費や、衛生面の課題もあると聞いている。

現場からは、幼児期の児童の成長には、土の園庭がより好ましい影響を与えるとの声や、小・中学校では、維持管理費用、労力、危険物の混入対応、かん水の問題、さらには、運動や遊びが制限され、危険回避能力が不足してくるとの声もあり、現在、芝生化については実施する考えはない。

公設・公営の周桑病院で！

(日本共産党西条市議団)

問 周桑病院は、平成21年度決算で、一般会計から、

7.8億円前後の持ち出しが想定されるが、今後、医師が増えれば医業収益が大幅に改善される。

医師減らしという国の大失政による赤字が最大原因であり、国に対して交付税の増額を要求すべきである。

70年間、市民の命綱として、存続し続けている、かけがえのない周桑病院を、今までどおりの公設公営の市民病院として財政援助を続けるべきが、合併後の新西条市の責任ある姿だと思つが、どう考えるか。



市立周桑病院

答

深刻な医師不足問題をはじめ、医療を取り巻く環境の悪化、医療崩壊現象の発生は、地域医療の根幹を揺るがす事態を招いており、再三、国に対して施策の是正を求めてきており、今後も続けていきたい。

特に、社会問題化している医師不足問題について、国はようやく医師の増員へと動き出したが、この解消には長い時間を要するもので、周桑病院の医師不足は限界にあり、現状の非効率な経営を続けることはできない状況にある。

西条市医療基本構想策定委員会の答申は、深刻な医師不足を解消し、大学医局の協力を得るためにも、当面、西条市が継続関与して経営基盤を強化し、経営の健全化を図ることが不可欠であり、そのためには市立病院としての存続を図ることが望ましく、行政等が出資して医療法人を立ち上げ、医師を理事長とし、運営を委託する指定管理者とすることが、実現性、安全性、信頼性のある解決策であると結論づけられたものである。

この答申を真しに受け止め、この具現化に取り組むことが、地域の拠点病院としての機能を

有し、経営的にも安定自立し得る病院の構築につながるものと考えている。

西条高校定時制課程の存続について問う！

(無会派)

問

県立高等学校再編整備計画によると、西条高校定時制課程が、平成24年に生徒募集停止対象となっている。

同校定時制課程が募集停止、閉校となれば、市内に定時制課程を有する高校が存在しなくなり、子どもたちの大切な学習の場が失われることになるが、このことについて市の対応を問う。

答

平成20年8月に愛媛県教育委員会から出された愛媛県立学校再編整備計画によると、定時制課程の普通科は、入学生が10名未満の状況が2年続き、その後も増える見込みがない場合には募集停止を行うこととされている。

西条高校定時制がその要件を満たすこととなった場合には、平成24年に募集停止を行うこととなり、この計画どおりに進めば、東予地区4市の中で定時



西条高校

制課程のない市が西条市のみとなる。

現在、西条高校定時制在籍者41名中37名が市内中学校出身者であり、勤労青年や進路変更生徒、年配者の学び直しなど多様な生徒が在籍している。このような多様なニーズにこたえることができる勉学の場として定時制課程はぜひとも必要であると考ええる。

今後、小・中学校でのより適切な進路指導のもと、高等学校とのより緊密な連携の中で、定時制存続希望について意思表示や働きかけを行っていきたい。

副市長の任命同意

副市長に、大越康史氏(国土交通省航空局空港部計画課空港計画企画官)を任命することに同意しました。

来訪 西条

3月定例会閉会以降、行政視察のため、西条市を訪問した市議会と視察項目は、次のとおりです。

- ◇5月25日 北海道苫小牧市議会
- ・食品加工流通コンピナート構想について

請願

6月定例会で審議した請願の審議状況は、次のとおりです。

【継続審査】

- ・経済・金融危機のもとで「消費税の大増税計画に反対する意見書」の提出を求める請願
- ・中小業者の家族従業者の人權保障のため、「所得税法第56条の廃止を求める意見書」の提出を求める請願

臨時会・定例会における議案等の審査結果

第4回5月臨時会

議案等番号	件名	議決結果
議案第56号	消防団施設に係る車両物損事故に伴う和解及び損害賠償額の決定の専決処分について	承認
議案第57号	税条例等の一部を改正する条例の専決処分について	〃
議案第58号	平成21年度一般会計補正予算(第1回)について	原案可決
報告第1号	交通事故に伴う和解及び損害賠償額の決定の専決処分について	報告聴取
報告第2号	交通事故に伴う和解及び損害賠償額の決定の専決処分について	〃

第5回5月臨時会

議案等番号	件名	議決結果
議案第60号	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	原案可決

第6回6月定例会

議案等番号	件名	議決結果
議案第61号	平成21年度一般会計補正予算(第2回)について	原案可決
議案第62号	平成21年度国民健康保険特別会計補正予算(第1回)について	〃
議案第63号	公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する協定の締結について	〃
議案第64号	新たに生じた土地の確認について	〃
議案第65号	字の区域の変更について	〃
議案第66号	字の区域の変更について	〃
議案第67号	辺地総合整備計画の変更について	〃
議案第68号	市道路線の認定について	〃
議案第69号	市道路線の変更について	〃
議案第70号	市道路線の廃止について	〃
議案第71号	税条例の一部を改正する条例について	〃
議案第72号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	〃
議案第73号	手数料条例の一部を改正する条例について	〃
議案第74号	職員恩給条例を廃止する条例について	〃
議案第75号	養護老人ホーム設置及び管理条例等を廃止する条例について	〃
議案第76号	特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	〃
報告第3号	平成20年度繰越明許費繰越計算書について	報告聴取
報告第4号	株式会社西条産業情報支援センターの経営状況について	〃
報告第5号	土地開発公社の経営状況について	〃

第5回5月臨時会

5月25日に開催されました5月臨時会では、5月1日の人事院勧告に基づく政府決定を受けて、本市一般職員などにかかる期末手当などを改正するため、西条市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例についての条例案1件が審議され、原案のとおり可決されました。



議会一ロメロ

臨時会とは

定例会は、毎年条例で定める回数(西条市では年間4回)の招集が予定されていますが、突発的な事情等により、特定の事件に限って審議するために、次回の定例会を待つことができない必要が生じた場合に、随時臨時会が招集されます。

定例会とは違い、必要があれば回数に制限なく招集することができます。

会議録を公開しています!

市議会だよりは、紙面の都合上、本会議の概要を掲載しており、詳細な審議状況や内容などのすべてをお知らせすることができません。

このため、市議会では、本会議を記録した会議録を議会事務局、各総合支所、各公民館、各図書館に配備するほか、議会のホームページにて公開しております。ぜひ、ご利用ください。

市議会を知る

よい機会です。

あなたも本会議を聴してみませんか!

市役所庁舎7階の本会議場傍聴席で本会議の様子を傍聴することができます。

このほか、別館1階・玄関ロビーにおいても、モニターテレビで本会議の実況を視聴することができます。

ぜひ、ご利用ください。議会の日程など詳細は、議会事務局へお尋ねください。



7階傍聴席から見た議場

編集後記

本号から新しい編集委員会による編集となりました。委員一同、意を新たに市民に親しまれる市議会だよりを心がけ、編集に努めて参ります。今後とも、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。ご意見、ご感想をお待ちしております。



【あて先】

西条市明屋敷164番地
西条市議会事務局
Tel 0897-521261

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 一色 伸二 |
| 副委員長 | 持主眞知子 |
| 委員 | 坪井 剛 |
| 〃 | 安藤 雅康 |
| 〃 | 森 達正 |
| 〃 | 近藤 達也 |
| 〃 | 黒河紘一郎 |
| 〃 | 徳増雅養一 |
| 〃 | 伊藤 孝司 |
| 〃 | 莖田 元近 |